

＜本部便り＞ 総務委員会報告

同窓会から現役クラブに楽器購入助成10万円渡す

2017年4月19日、現役クラブ（前本部長の萱沼菜々子さん、会計の小野誠さん）2人と三ツ山同窓会会計担当と鶴見で、松本市「あがたの森内のレストラン」で会い、楽器購入助成金10万円を三ツ山栄勇さんから会計の小野さんに手渡ししました。その後、現役クラブの現状などをいろいろと聞くことが出来ました。また、先輩としてクラブ創立当時の活動を紹介し、時間の経つのも忘れるほどでした。話を聞いた内容は次の通りでした。



左から小野誠さん、萱沼菜々子さん、三ツ山栄勇さん、鶴見鍵二

■第55回定期演奏会に向け活動

△定期演奏会 2017年11月5日(日)長野会場、11月23日(木・祭日)松本会場の2会場で開催する。

△演奏曲、Plink.Plank.Plunk、瑞樹の詩第一楽章、翠雨、十字軍、人生のメリーゴーランド、ひまわりの約束、世界に一つだけの花、スペイン組曲ペロータ、雪空のファンタジア、山河緑照、その他

△夏合宿8月24～31日（7泊、8日）志賀高原で行う。

■夏合宿で同窓会をより身近に感じた(※)

昨年の夏の合宿のとき、先輩の方々が来られ、昼食を共にでき、同窓会をより身近に感じる事ができた。差し入れに大きなスイカをいただき、ホテルのコックの方から、「こんな大きなスイカは見たことが無い」とか。

ドラ・セロが足りない

△現在、楽器ではドラ、セロが足りない。

△毎年1・2回楽器のメンテナンスを行っている。1970～80年代のセロ、修理をするプロの見立てでは、素晴らしい楽器だと褒めてくれています。

△現在、今年入学した生徒にクラブ勧誘をすすめている最中。クラブの最近の特徴は、退部するクラブ員は少なく、ほとんど4年間クラブに所属して頑張っている。

△今年卒業したクラブ員2人、「松本市内にあるカナデオン」「岡谷マンドリンクラブ」に入り、卒業後も楽器から離れずに頑張っている。

△定期演奏会の正面舞台に団旗をかかげているが、この団旗、もう50年ほど前から使われているのでは---

## ■今年クラブに入った部員数は 11 名（4 月 29 日現在）

後日、萱沼菜々子さんから「先日は、コーヒーを御馳走していただき、ありがとうございました。また、私もマンドリンクラブの歴史などについてお話を聞くことができ、とても楽しかったです。小野君も鶴見さんと三ツ山さんと話せたことをとても嬉しがっていました」「今年入学した生徒にクラブ勧誘をすすめ、4 月 29 日(土)に新入生歓迎会を行い、11 人が入部しました。入部したクラブ員のうち、4 人が高校などでマンドリンクラブに入っていました」と御礼を兼ねてメールが寄せられました。

総務委員会 鶴見鍵二(昭和 44 年農卒)

## (※) 昨年夏の夏合宿に羽田会長、山田先輩、斉藤副会長とで激励訪問

2016 年 8 月 29 日に、志賀高原のホテルで合宿中の現役生クラブに、激励訪問したときのことを覚えてくれていました。(同窓会ホームページに掲載しています。)

## < 甲信越支部便り >

### ■上田市武石温泉で出前コンサート

甲信越支部では今年最初の活動として、3 月 5 日(日)に上田市の武石温泉「うつくしの湯」で出前コンサートを行ないました。

ここでは時々コンサートが開催されており、今回は我々の他に男声合唱団とオカリナサークルの演奏もありました。今回我々が出るきっかけとなったのは、昨年行なった「真田十勇士ガーデンプレイス」でのコンサートの際、「うつくしの湯」



「うつくしの湯」での演奏風景

の責任者の方が聴きに来ていて、

我々の演奏にいたく感激し(?)、その場で演奏を依頼されたものです。

当日の演奏曲は甲信越支部のレパートリーの中から厳選し、下記の 9 曲を演奏しました。我々の熱演の様子は、地元のケーブルテレビが録画し、後日放映してくれました。また、地元のマンドリン合奏団のメンバー数人が聴きに来ていて、市ノ瀬さん編曲の「童謡“春夏秋冬”」が非常に素晴らしかったとのことで、是非楽譜を頂きたいとの依頼もありました。今回は専属司会者を含め 13 名が出演しました。また、演奏後は近くにある藤松さんのご実家にお邪魔して、美味しいコーヒーを頂きながら反省会を行ないました。

- ☆演奏曲目
- |                     |             |             |
|---------------------|-------------|-------------|
| 1. テキエロデヒステ(オープニング) | 2. 童謡“春夏秋冬” |             |
| 3. みかんの花咲く丘         | 4. 千曲川      | 5. 秋(コスモス)桜 |
| 6. 津軽海峡冬景色          | 7. 涙のトッカータ  | 8. 序曲“魅惑島”  |
| 9. 丘を越えて(アンコール)     |             |             |

尚、甲信越支部では全体総会の無い年は支部総会を開催しており、今年は丁度その年で、6 月 24 日(土)に松本で開催致します。この時もミニコンサートを行う為、1 回/月の練習を行なっています。

甲信越支部 金井 正広(昭和 50 年工卒)

## ＜東日本支部便り＞

### ◆2017年 新年の集い

2月19日(日)東日本支部で、東京の羽田会長邸にて新年の集いを開催しました。当日は午後から集合し、本部役員打合せから始まり、東日本支部有志による小演奏会、小演奏を聴きながらの交流会、支部集会、締めは場所を近くの食事処に移しての全体懇親会と盛り沢山でした。久しぶりに近況報告や今後の活動などを語り合いました。

小演奏会では、マンドリン系の低音パートのメンバーの都合が付かなかったため、ギター合奏、ギター独奏、マンドリン二重奏、マンドリン小合奏を行いました。小演奏会の記録は後日、同窓会ホームページに掲載する予定です。

## 午後の小演奏会

14:30～15:30



### 有志によるギター合奏

- 1 ロマンズ
- 2 午後の音楽室
- 3 二つのメヌエット
- 4 アベマリア
- 5 いい日旅立ち  
愛の挨拶（アンコール曲）

＜作曲＞

J. キュフナー  
ゴンチチ  
J.S Bach  
G.Caccini  
谷村新司  
Edward Elgar

1st: 水上明、高野洋之、中村誠  
2nd: 福永眞敏、松下一昌、中村美和  
3rd: 武内正、三戸純

### ギター独奏

- 1 ラ・クンパルシータ
- 2 アルハンブラの思い出

＜作曲＞

H.M ロドリゲス  
フランシスコ タレガ

ギター : 福永眞敏

### ”イルマーレ”メンバーによる演奏

- 1 マンドリン二重奏 ; スパニッシュセレナーデ
- 2 マンドリン小合奏 ; スカポローフェア

＜作曲＞

ビゼー  
イギリス民謡

マンドリン : 高野洋之、中村美和  
マンドリン : 同上  
ギター : 水上明、中村誠

### 東日本支部小演奏会の演奏曲



本部役員打合せ



ギター合奏



ギター独奏





マンドリン小合奏



支部集会



懇親会(二次会)

東日本支部 水上明(昭和 48 年工卒)

### ◆富士山マンドリンオーケストラ海外演奏旅行記

4月7日から17日までの10日間、過去2年毎に静岡マンドリン協会が主催する海外演奏に2人で参加してきました。

我がグループは富士山マンドリンオーケストラと称し、県内各地のグループが参集した団体です。これまでロシア（サンクトペテルブルク）、クロアチア（ザグレブ）、イタリア（フィレンツェとローマの2回）を訪問し、今回の北ドイツが5回目となります。訪問した場所はキールと言うドイツ北部の港町で、受け入れて頂いたグループは1911年設立の Mandolinclub Ellerbek von 1911 という団体で日本女性（音楽教師）が指揮をされており、ご主人が代表を務められています。

さて演奏会は4月8日(土)にキール近郊の教会で行われました。当日はイースターの前週という事で会場がなかなか取れなかったようで Bethlehem Kirche という小さな教会になったそうですが、響きはそこそこ良かったと思います。演奏は、最初に我々富士山マンドリンが行い、引き続き先方の Ellerbek club そして合同演奏へと移り、会場内の多くの市民の方々から暖かい拍手を頂き、楽しい時間を過ごしました。

演奏会が終わると交歓会です。相手はドイツ語のみ、我々の下手な英語もなかなか通じず、それでも身振り手振りで大きな声が飛び交い、笑い声が絶えませんでした。先方は我々と同じように高齢者が多く、100年も続いているクラブの存続に頭を悩ませておられるようでした。

翌日からは観光です。ツェレ、ライプチヒ、ドレスデンを巡りベルリンへ。グループの約半数は更に3泊4日でチェコのプラハへ向かいプラハの街を満喫してきました。これまで訪問した中でプラハの街が一番印象に残りました。最終日にはボヘミア交響楽団の演奏会に行きスメタナの「モルダウ」が流れてきたときには、昼間歩いた「モルダウ川」情景が目に見えきて感動を覚えました。本当に素晴らしい街でした。この海外演奏旅行は今回で最終となりますが、この5回の旅行はセカンド ライフの良き思い出として大切にしたいと思えます。



富士山マンドリン合奏



日独合同演奏



演奏会終了後の交換会にて



プラハ カレル橋を背にして



演奏会プログラム

東日本支部 小川英治・節子(昭和 47 年織卒)

## <西日本支部便り>

### ◇関西での慰問演奏会に向けて猛練習中

今年は 11 月に関西の福祉施設で慰問演奏を行うことが決まり、毎月第 1 土曜日に練習に励んでいます。昨年、指揮者不在での演奏のため満足のいくアンサンブルができなかった反省から、今年は、コンサートマスターの大原さんに指揮に専念してもらうことにしました。大黒柱の大原さんが抜けた穴を埋めるべく、マンドリンパートは一部パート変更をおこない、目下特訓中です。

安定したピッキングとトレモロを習得するために、トレモロ部分を 16 分音符～64 分音符に分割して、全ての音符をピッキング符として表現した譜面を大原さんが作製してくれました。(トレモロ版と呼んでいる力作です。大原さん有難うございました)

スコア・プレーヤーで聴けば合奏曲のイメージが掴み易いし、出力して通常の譜面と対比してみると、大いに演奏の参考になります。音符の長さや速度の違いはアップ・ダウンの回数で調整し、アップ・ダウンの速度(周期)は一定に保つトレモロを私が学生の時には誰も教えてくれなかったし、オデルの教則本にもそういった説明がなかったので、これまでトレモロの回数は適当に考えて、アップ・ダウンの速度で微調整していました。「youtube」でプロの演奏を聴くと、トレモロのスピードはそれほど速くないのに、とても滑らかで、きれいな音に聞こえるのは、この辺の基本がしっかり出来ているのでしょう。目から鱗です。久保田マンドリン教則本にその練習方法が記述されているようです。視力と記憶力の衰えが目立つ今日この頃です。課題曲の音を間違えないように弾くのが精一杯で、基本練習まで立ち戻る余裕はありませんが、急がば回れ……。

\*～ 広報委員会からのお願い \*～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

特集リレーコラム“人生の歩み”寄稿文を募集しています。

信大マンドリンクラブのメンバーの皆さまが、卒業後社会に出て、経験したこと、活動したことなどを自由に書いていただくコラムを同窓会ホームページで立ち上げています。トップページ画面右欄の「会員ページ」からログインし、リレーコラム“人生の歩み”からご覧ください。同窓会の皆さまとの情報共有、現役の皆さまがこれから社会に出られるにあたっての参考になるものと思います。寄稿していただく場合は、A4 で 2～3 枚の文書を各支部長宛てお送りください。手紙、FAX、メール、何でも OK です。同窓会ホームページのアドレス <http://sumc-harusekiryuu.org/>

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

# Tout Passe

1st Mandolin

凡ては去りぬ

Hyacinthe Ravitrano

Andante  
♩=60

(通常版譜面)



Andante  
♩=60

(トレモロ版譜面)



トレモロ版と呼ぶ練習用譜面

## ◇市川正明さん（昭和46年工学部卒）脳梗塞でリハビリ中

西日本支部副支部長（幹事長）の市川正明さんが、今年3月脳梗塞を発症されました。幸い処置が早かったので、現在、杖は必要ですが、歩行もでき、会話もできますが、左手の指にまだ力が入らないようで、「関西メディカル病院」でリハビリ中です。SUMC同窓会活動への完全復帰を目指して頑張っておられます。病室へ携帯を持ちこんでいるそうですので、番号をご存じの方はショートメールで励ましの応援メッセージを送ってあげてください。

西日本支部長 伊東義敏(昭和45年工卒)

## ◇名古屋地区補強練習始まる

西日本支部では、毎月第1土曜日に練習を名古屋と京都あるいは神戸で交互に行っています。名古屋地区の会員で、関西方面までは練習に参加できない人が3、4名いますので、毎月第1土曜日以外に月1回、JR刈谷駅前の刈谷市総合文化センター（通称：アイリス）で名古屋地区の補強練習を行っています。参加希望の方は、伊藤雄二まで連絡ください（伊藤携帯 080-3282-2873）。

6月19日(月)：刈谷

7月1日(土)：京都

8月5日(土)：名古屋

7月24日(月)：刈谷

8月21日(月)：刈谷



全体練習（名古屋市北生涯学習センター）



名古屋地区補強練習後の懇親会（刈谷市）

西日本支部 伊藤雄二(昭和49年織卒)